

【補足1】リクライニング部 A (頭部) の操作方法

～ リクライニング部 A (頭部)のギヤがロックしない場合には、下記をご参照ください。～

*リクライニング部 A (頭部) に使用しているギヤは無段階リクライニングで、カチカチという音はしません。

また、内部パイプフレームはギヤまでの距離が短いため、他の部分の操作よりも力が必要です。

* 操作する際には、座面が浮き上がらないようにお尻を乗せる部分に膝を乗せて押さえてください。

① スタートの位置



② 好みの角度に動かす (0～41度の範囲)



③ 解除の位置(56度)まで しっかりと押して動かす



④ 前方から両手で後方に 押して角度を戻す



⑤ コツンと音がする位置まで 強く押してしっかりと戻す



⑥ 再度リクライニングできる ①のスタート位置に戻る



【補足2】リクライニング部 B (背部) の操作方法

～ リクライニング部 B (背部)のギヤが途中でロックしてしまう場合には下記をご参照ください。～

*リクライニング部BとC(背部と脚部)のギヤは、一度平らにしなくても途中でロックできる機能があるため、クッション材の張力など、構造上の理由からリクライニング操作の途中でギヤがロックする場合があります。そのような場合には、下記のリクライニング操作方法をお試しください。(図をご参照ください。)

① 背もたれの後ろから両手で中央部を前にしっかりと押す



② 座面が少し浮き上がる程度前に押してギヤを解除する



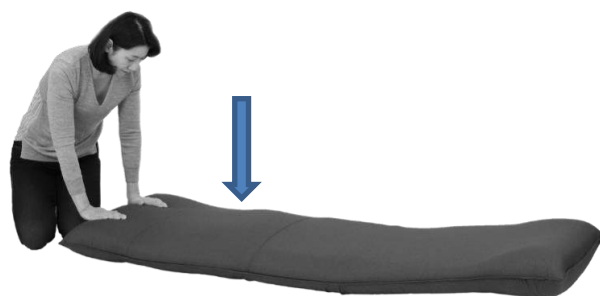
③ 途中で止まらないようにスムーズに戻してゆく



④ 角度を決めたら少し前に押しギヤをロックする



*途中で止めなければ水平まで戻すことができます



⑤ 再度角度を変えたいときには①からやり直す



【補足3】リクライニング部 C (脚部) の操作方法

～ リクライニング部 C (脚部)のギヤが途中でロックしてしまう場合には下記をご参照ください。～

*リクライニング部BとC(背部と脚部)のギヤは、一度平らにしなくても途中でロックできる機能があるため、クッション材の張力など、構造上の理由からリクライニング操作の途中でギヤがロックする場合があります。そのような場合には、下記のリクライニング操作方法をお試しください。(図をご参照ください。)

① 脚部の後ろから両手で中央部を前にしっかりと押す



④ 角度を決めたら少し前に押しギヤをロックする



② 座面が少し浮き上がる程度前に押してギヤを解除する



*途中で止めなければ水平まで戻すことができます



③ 途中で止まらないようにスムーズに戻してゆく



⑤ 再度角度を変えたいときには①からやり直す



【補足4】リクライニング部 D (膝下)の操作方法

～ リクライニング部 D (膝下)のギヤがロックしない場合には、下記をご参照ください。～

*リクライニング部 D (膝下)に使用しているギヤは無段階リクライニングで、カチカチという音はしません。

また、脚の動きに合わせて支えるため、動く方向と角度が他のリクライニング部と違います。

*操作する際には、リクライニング部C(脚部)が同時に動かないように手で押さえてください。

① 操作がしやすいように
全体を平らにする



④ 後方から押して解除の位置
まで動かす



② リクライニング部C(脚部)を
垂直に近い角度まで上げる



⑤ コツンと音がするスタートの
位置までしっかりと戻す



③ リクライニング部C(脚部)が
動かないように手で押さえる



⑥ スタートの位置に戻らない場合
①から再度操作する

